

地域人材による家庭教育支援推進事業～家庭教育「学びカフェ」推進事業～

事業の要旨

全国を上回るスピードで少子化・人口減少が進む本道において、地域・家庭の教育力の低下が指摘される中、様々な保護者が家庭教育や子育てに関する学習・相談機会を日常的に得られるよう、各地域に保護者等の相互学習を促進する「家庭教育ナビゲーター」を養成し、家庭教育支援に関わる「学びのセーフティネット」を構築する。

これまでの家庭教育支援事業の成果と課題

※成果

家庭教育に関する学習機会を提供する多様な学習プログラムを創出できた。

※課題

様々な理由で学びの場に参加できない保護者に対し、網の目のようにサポートする体制が必要。

「課題の解決を図るためのポイント」

- ※ 保護者が集まりやすい機会や場所を活用する。
- ※ 地域における身近な人間関係を活用する。

両者の融合による『学びのセーフティネット』の構築

これまでの家庭教育支援事業

学習者の積極的な参画を前提とした「学習機会提供型」
・子育て講演会 ・家庭教育講座 ・親子体験学習 等



新たなアプローチによる家庭教育支援

(「学びカフェ」推進事業)
日常的な場を活用した「保護者同士の相互学習型」

事業内容

〈市町村〉家庭教育「学びカフェ」運営委員会

◆活動1：家庭教育ナビゲーター養成研修会の実施

『家庭教育ナビゲーター』
=「学び合いの促進者・進行役」「身近な地域住民」

H29まで全市町村に養成

◆活動2：家庭教育「学びカフェ」の企画・運営

家庭教育「学びカフェ」
=「保護者同士の学び合いを促進する多様な場」「カフェのような気軽に参加できる場」

連携

〈道〉家庭教育「学びカフェ」推進事業検討会議

◆各教育局の役割

- 1 家庭教育ナビゲーターの養成
- 2 家庭教育ナビゲーターの資質向上のための研修機会の提供
- 3 市町村における学びカフェの取組促進
- 4 HPに掲載する実践事例集の原稿作成

- ・ナビゲーターの指導者養成
- ・ナビゲーターの養成 (H29年度までに全市町村で養成)
- ・ナビゲーターの資質向上のための研修機会の提供
- ・市町村における学びカフェの取組促進
- ・家庭教育ナビゲーターハンドブックの作成
- ・乳幼児期の保護者の意識調査
- ・実践事例集の作成 (HP)

	H27	H28	H29
・ナビゲーターの指導者養成	○	○	
・ナビゲーターの養成 (H29年度までに全市町村で養成)	○	○	○
・ナビゲーターの資質向上のための研修機会の提供		○	○
・市町村における学びカフェの取組促進	○	○	○
・家庭教育ナビゲーターハンドブックの作成	○	○	
・乳幼児期の保護者の意識調査	○		
・実践事例集の作成 (HP)			○

各地域に多数の「家庭教育ナビゲーター」を養成する効果

全道で、地域の住民が効果的な学習機会の提供

日常的に身近な人間関係の中で、相談等が可能に

全ての保護者が学習・相談機会が得られる地域へ

事業の成果

家庭教育に関わる学びのセーフティネットの構築

1 子どもを産み育てたい地域社会の実現

2 自らの力で課題を解決する地域社会の形成